



未来の担い手へ

東野地区で林業現場見学会を行いました

町では、林業について若い世代に興味を持ってもらい、未来の担い手を育てようと、昨年度から林業体験を実施しています。今年も、11月12日(土)、山越郡森林組合の協力のもと、林業現場見学会が開催され、町内の親子ら18人が参加しました。

森林組合の皆さんが操作するチェーンソーや高性能林業機械での伐採デモンストレーションが行われ、普段では見られない迫力ある作業風景に参加者の皆さんが真剣に見学していました。

伐採作業見学のあとは、ハーベスタなどの高性能林業機械に参加者自ら乗車し、森林組合の皆さんの指導のもと操作できる時間もあり、複雑な機械を楽しそうに操作して木を伐採する子供たちの笑顔がとても印象的でした。

来年も実施する予定となっていますので、興味のある方はぜひご参加ください。



ハーベスタで伐採する参加者



フォワーダに乗車する参加者

人権啓発キャッチコピー

「誰か」のこと じゃない。

「人権」は、私たちが自分らしく生きていくために生まれながらに持っている権利です。

普段、何気なく暮らしている家庭、学校、職場、地域などでもいろいろな人権問題があります。

11月12日(土)と11月22日(火)、人権が大切にされる地域・社会を目指すために、人権擁護委員とともに、町内において人権啓発グッズ(マスク・リーフレット)を約300名の方々に配布し、啓発活動が行われました。



◀ 11月12日
はぴあ産直市



11月22日
マックスバリュ前▶

二海サーモンプロジェクト! 東京海洋大学とタイ王国ブラパ大学の 教員・学生が二海サーモンを視察

東京海洋大学とタイ王国ブラパ大学水産テクノロジー学部の教員と学生14名が、11月30日(水)と12月1日(木)にかけて二海サーモンの種苗生産施設や熊石漁港の海面養殖の状況を視察しました。

タイの学生たちは生まれて初めて見た雪に感動しつつ、北海道二海サーモンプロジェクトについて活発に意見交換をしていました。

